

第 2 回 館山市議会定例会会議録
(第 4 号)

1 昭和59年6月29日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆	2 番 田沢 勝信
3 番 山中金治郎	4 番 日下 君敏
5 番 川名 正二	6 番 生稲 隆
7 番 榎本 春光	8 番 小宮 利夫
9 番 福原 勤	10 番 横溝 功
11 番 飯田 義男	12 番 石井 謀
13 番 石井 昌治	14 番 伊藤幸太郎
15 番 渡辺 昭夫	16 番 松下 正己
17 番 近藤 好雄	19 番 黒川 平治
20 番 石井 武敏	21 番 吉田勇治郎
22 番 林 豊	23 番 伊賀 多朗
24 番 流山源次郎	25 番 五十嵐 昇
26 番 石井 正	27 番 安西 益男
28 番 安澤 徳順	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

第1号に加えて助役

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第4号)

昭和59年6月29日午前10時開議

日程第1	{	議案第39号	非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議案第40号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
		議案第41号	字の区域及び名称の変更について
		議案第42号	財産の取得について

- | | | |
|-------|-----------|---|
| | 議案第 5 0 号 | 昭和 5 9 年度館山市一般会計補正予算 (第 1 号) |
| 日程第 2 | 議案第 4 3 号 | 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議案第 4 4 号 | 館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議案第 4 5 号 | 館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議案第 4 6 号 | 老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議案第 4 7 号 | 館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 議案第 4 8 号 | 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について |
| 日程第 3 | 議案第 4 9 号 | 館山市火入れに関する条例の制定について |
| 日程第 4 | 請願第 4 号 | 健康保険制度の抜本改悪に反対し、政府に要請する意見書の提出を求める請願書 |
| | 陳情第 1 号 | 国立病院・療養所の充実を要請する意見書の提出を求める陳情書 |
| 日程第 5 | 発議案第 1 号 | 道路事業をはじめ公共事業の確保等に関する意見書について |

開 議 午前 1 0 時 0 2 分

○議長 (石井 正君) 本日の出席議員数 2 6 名、これより第 2 回市議会定例会第 4 日の会議を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議案の配付

○議長 (石井 正君) 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（石井 正君） 日程第1、議案第39号乃至議案第42号及び議案第50号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（石井 正君） ただいま議題となりました各議案はともに去る6月26日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

（総務委員会委員長横溝 功君登壇）

◎総務委員会委員長（横溝 功君） 去る6月26日開会の本会議におきまして総務委員会に付託されました議案第39号乃至議案第42号及び議案第50号につきまして、27日総務委員会を開催し慎重に審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、審査の主なる事項を申し上げます。

議案第39号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてですが、家庭教育指導員の職務内容、任期について尋ねたところ、職務内容は家庭教育に関する相談や助言、家庭教育学級の企画、運営及び学習内容について指導、助言等をしてもらう、任期は2年である旨の答弁がありました。そこでさらに任期は短か過ぎると思うがどうかとただしたところ、運用の中で考えていくとの答弁がありました。

また、報酬額が社会教育指導員より1万円低いが、同額の方が適当と思われるので、再検討するよう要望いたしました。

次に、議案第40号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてですが、まず課税限度額の28万円から35万円への引き上げによる増額分を尋ねたところ、限度額28万円の場合は限度額世帯は635世帯、35万円の場合は400世帯となり、増額分は3552万40

00円である旨の答弁がありました。

そこで、課税客体の完全な把握を行うことにより上げ幅を抑えられないかをただしたところ、極力把握漏れのないよう努力しているとの答弁がありました。

さらに、35万円というのは課税限度額の上限を規定しているのではないかとただしたところ、35万円以下でもよいわけであるが、当市の場合限度額を35万円で計上して初めて本年度算定の9億9000万円の保険税調定額が満たされるということである。また国、県の指導、安房郡市、県南8市の状況を勘案し35万円としたとの答弁がありました。

さらに、国保税の滞納額が1億7000万円もあるということは、行政の怠慢もあるのではないかと、不納欠損処分の状況はどうかと説明を求めたところ、55年度483万円、56年度692万円、57年度542万円、58年度は1028万円の予定である旨の答弁がありました。

なお、さらに課税限度額だけを改正して調定を行ったようであるが、修正する考えはないかをただしたところ、各保険間のバランス、中低所得者層の負担の軽減から妥当なものと考えているとの答弁がありました。

さらに、増額分は3552万円であるが、これに対し国保会計、一般会計においても繰越金が生じておるので引き上げを行わず、その中で措置していくことについても再検討するよう強く要望いたしました。

次に、議案第50号館山市一般会計補正予算第1号についてですが、安房郡市広域市町村圏事務組合粗大ごみ処理施設負担金についてであるが、どの程度のごみの量を考えているかをただしたところ、館山市としては1日平均10tを考えており、圏域においては正式にとったデータはないので推計し、将来を見越して1日処理能力が50tということで考えているとの答弁がありました。

さらに、建設場所を尋ねたところ、館山市清掃センター隣を予定し、敷地は貸与するとの答弁がありました。

そこで、各市町村の負担金の方法はかなり以前から同じであるが、公平であるのかをただしたところ、常識的にみてそう不当な数字ではないと考えているが、再検討していくとの答弁がありました。さらに維持費について十分検討をして公平な負担となるよう要望いたしました。

次に、粗大ごみ等を業者が回収しており、その後付近が汚れているがとただしたところ、再資源化するため業者が回収することについてはごみの減量化、処理経費の減少につながり悪いことではないが、以前にも指摘を受けたので、業者にきちんと通知をしているが、さらに注意をする旨の答弁がありました。

関連して、と畜場の広域圏での運営について、その後の経過を尋ねたところ、広域圏移管ということで検討を進めており、広域圏において各市町村企画担当者会議でも議題として取り上げ説明している。また各市町村の酪農組合の代表者とも話し合いを行っており、広域圏で行うよう組合でも運動を進めている。館山市としてはと殺頭数が年々減少の一方であり、59年度限りで廃止をするつもりである旨の答弁がありました。

次に、館野小学校用地造成工事設計委託料についてですが、造成工事の今後の予定についてをただしたところ、今議会で補正予算が認められれば8月に図面を作成し、9月議会に造成費を計上し、10月頃から造成工事に入り、来年2月末工事が完了する予定である旨の答弁がありました。

以上、本委員会に付託をされました議案5件について総務委員会の審査の概要を申し上げましたが、満場の賛同を賜りますようお願いいたし総務委員会委員長報告といたします。

◎議長（石井 正君） 以上で、委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。通告はありませんでした。討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（石井 正君） これより採決いたします。採決は分割して行います。

まず、議案第39号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

議案第39号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第39号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第40号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

議案第40号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第40号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第41号乃至議案第42号及び議案第50号の各議案を一括して採決いたします。

議案第41号、議案第42号及び議案第50号についての委員長の報告は原案可決であります。各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第41号、議案第42号及び議案第50号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

○議長(石井 正君) 日程第2、議案第43号乃至議案第48号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

○議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案は、ともに去る6月26日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長石井武敏君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長石井武敏君登壇)

◎文教民生委員会委員長(石井武敏君) 御報告申し上げます。

去る26日開会の本会議におきまして文教民生委員会に付託をされました議案第43号乃至48号につきましては、27日に委員会を招集しまして議案の審査を行いました。その経過の主なる事項と結果につきまして申し上げます。

まず、議案第43号につきましては、西岬東地区公民館の利用状況について尋ねたところ、58年度は186件、4384名の利用があった旨説明がありました。また、手狭になったり、補修を要することから増改築を要望する地区もあるので、今後検討されたい旨要望意見がありました。本議案に関しましては全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案の第44号につきましては、年齢別措置児童数の状況につきまして当局から説明がありました。また、定員の削減をするとどんな利益があるか、さらに保育料の徴収基準について実態に合わせて徴収できないか等尋ねましたところ、定員削減により保育単価が高くなり、国、県の補助金が389万6000円増となる。また国の基準にのっとって保育料を算出している旨説明がありました。

また、船形保育園の新築に関しては、62年度に建設する予定であると答弁がありました。

本議案に関しましては、措置児童数の状況から保育の需要があると考えるところとして反対討論がありました。本案は賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案の第45号に関しましては、国の要綱改正の理由について、また周辺自治体の動向について尋ねたところ、人事院勧告により率仕員の手当等が増額されたことに伴い負担額が改正された、市としては国の基準に沿っていきたい、また本年度改正しない市もある旨説明がありました。

本議案に関しましては、弾力的な運用の考え方があってしかるべきだという理由で反対討論がありました。本案は賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案４６号につきましては、４５号議案と同じ内容のものであり、同様の理由から反対討論がありました。本案は賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案４７号に関しましては、出野尾老人福祉センターの規模、利用者、施設内容及び将来の拡充計画について尋ねたところ、建築面積１９４．４９㎡で、市民だれでも利用できる、センターの余熱利用で使用する湯の全部を給湯する、現在施設を拡充する計画はない旨説明がありました。

また、利用者の足の確保について尋ねましたところ、団体の場合は状況に応じてマイクロバスを出したい旨答弁がありました。

本議案に関しましては、全員一致をもちまして原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第４８号につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、文教民生委員会に付託をされました議案について、本委員会の概要を御報告申し上げ委員長報告といたします。よろしくお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 以上で、委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

○議長（石井 正君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

１番議員神田守隆君。御登壇願います。

（１番議員神田守隆君登壇）

○１番（神田守隆君） 議案の第４４号館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定についてであります。反対の討論をいたします。

館野、船形の保育園の定員をそれぞれ削減しようとするものであります。が、現状の保育園の定員に対する入所の率は全体としては８２％であり、その一方で０歳児のうち保育園に入所しているのはわずかに２．８％、１歳児で５．６％、２歳児で１５．３％、３歳児で２７．４％という現状で

あり、まだまだ保育所への潜在的な需要は相当に高いものがあると考えます。特に館野地区では人口増の傾向もあり、今後の推移から見ても定員削減には問題があるかと思います。保育所への入所がしたくても、それをためらわせている原因の一つは高い保育料金にあります。保育料金の引き下げを強く主張いたしまして反対の討論といたします。

第45号及び第46号に関してありますが、身体障害者及び老人家庭への奉仕員派遣事業の負担金の引き上げを図ろうとする議案であります。

1時間当たり290円を295円に、580円を590円にそれぞれ値上げしようとするものでありますが、その理由は奉仕員の時間当たり単価が引き上げられたためとしています。しかし奉仕員の賃金が上がったことをもって、それを直ちに身体障害者や老人の負担にスライドさせるやり方は、福祉に対して大変に冷たい態度だと言わざるを得ません。以上の点を指摘いたしまして反対討論といたします。

○議長（石井 正君） 以上で、通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。採決は分割して行います。

まず、議案第43号館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

議案第43号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第43号館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第44号館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

議案第44号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委

員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第44号館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第45号館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

議案第45号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第45号館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第46号老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

議案第46号についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第46号老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第47号及び議案第48号について一括して採決いたします。

議案第47号及び議案第48号についての委員長の報告は原案可決であります。各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第47号及び議案第48号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

○議長(石井 正君) 日程第3、議案第49号館山市火入れに関する条例の制定についてを議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

○議長（石井 正君） ただいま議題となりました議案第49号は去る6月26日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。よって、これより本案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長石井 謀君登壇）

○建設経済委員会委員長（石井 謀君） 御報告をいたします。

去る6月26日本会議において建設経済委員会に付託されました議案第49号館山市火入れに関する条例の制定について、昨28日委員会を招集し議案の審査を行いました。

慎重審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、委員会における審査の経過について申し上げます。

今回から市町村の団体事務になっているとの説明があったが、いままでどのように取り扱われていたか尋ねたところ、国の委任事務ということで市町村が取り扱っていた旨の説明があり、続いていままでこういった申請があったかどうか尋ねたところ、事例のない旨の答弁がありました。

次に、田のあぜ焼きについて対象になるかどうかただしたところ、森林の周辺であれば許可の対象となる、また強風下の場合は延期しなければならない旨の説明がありました。

以上で、建設経済委員会に付託されました議案について概要を御報告申し上げます。満場の御賛同を賜りますようよろしくお願い申し上げます。建設経済委員長の報告といたします。終わり。

○議長（石井 正君） 以上で、委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論はございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（石井 正君） これより議案第49号館山市火入れに関する条例の制定についてを採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第49号館山市火入れに関する条例の制定については原案どおり可決されました。

請願書・陳情書の上程

○議長（石井 正君） 日程第4、請願第4号健康保険制度の抜本改悪に反対し、政府に要請する意見書の提出を求める請願書及び陳情第1号国立病院・療養所の充実を要請する意見書の提出を求める陳情書を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

○議長（石井 正君） ただいま議題となりました請願書及び陳情書は、ともに去る6月26日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより請願書及び陳情書に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長石井武敏君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長石井武敏君登壇）

○文教民生委員会委員長（石井武敏君） 御報告申し上げます。

去る26日開会の本会議におきまして文教民生委員会に付託をされました請願第4号及び陳情第1号に関しましては、27日に行なわれました委員会において審査を行いました。以下、審査の概要を申し上げます。

まず、請願第4号に関しましては、県議会でも意見書の議決をされている、市民への負担増になる制度の改正に反対すべきだとする賛成討論がありまして、それに対しまして抜本的な問題が国において論議されている、医療制度は国民がひとしく利益を受け、負担しなければならないという理由で反対討論がありました。採決は起立により行いまして、本請願は賛成

少数により不採択と決定いたしました。

次に、陳情第1号に関しましては、陳情の趣旨に賛成する賛成討論と、この問題の提起は時期尚早であるとする反対討論がありました。採決は起立により行い、本陳情は賛成少数により不採択と決しました。

以上、委員会におきます審査の結果について御報告を申し上げまして委員長報告といたします。よろしくお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 以上で、委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。通告はありませんでした。討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。採決は分割して行います。

まず、請願第4号について起立により採決いたします。

請願第4号についての委員長の報告は不採択であります。請願第4号を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、請願第4号は不採択と決しました。

次いで、陳情第1号について起立により採決いたします。

陳情第1号についての委員長の報告は不採択であります。陳情第1号を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、陳情第1号は不採択と決しました。

議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第5、発議案第1号道路事業をはじめ公共事業の確保等に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

○議長(石井 正君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

○議長(石井 正君) 提出者の説明を求めます。

(24番議員流山源次郎君登壇)

○24番(流山源次郎君) 発議案第1号道路事業をはじめ公共事業の確保等に関する意見書について提案理由を説明を申し上げます。

御承知のとおり、国におきます財政状況は依然として厳しく、財政再建のため引き続き公共事業費の抑制、道路特定財源の流用等による国民生活への影響が懸念されております。

すでに、本市議会におきましては道路特定財源の確保、国道127号バイパスの早期実現等につき関係機関に意見書を提出し、あわせて当地域における交通体系の整備、充実を要望しておるところであります。今後の予算編成に向けて、この際改めて国に対しまして要望いたしたく5名の賛成者を得まして本案を提出した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明いたします。

○議長(石井 正君) 説明は終わりました。

御質疑を願います。御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

○議長(石井 正君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論を行います。討論はございませんか。——討論なしと認め

ます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（石井 正君） これより採決いたします。採決は起立により行います。

本案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前 10 時 40 分

◎議長（石井 正君） 以上で、本定例会に付議されました案件は議了されました。よって、これにて第2回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第39号乃至議案第50号
- 1 請願第4号、陳情第1号
- 1 発議案第1号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 石 井 正

館山市議会議員 小 宮 利 夫

館山市議会議員 石 井 武 敏